



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社あらた 上場取引所 東  
 コード番号 2733 URL http://www.arata-gr.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 畑中伸介  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 鈴木洋一 TEL 03-5635-2800  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	339,795	7.5	2,665	230.1	2,721	235.1	1,566	577.7
27年3月期第2四半期	316,092	△1.6	807	△52.1	812	△51.4	231	△71.9

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,209百万円 (263.5%) 27年3月期第2四半期 607百万円 (△26.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	101.59	—
27年3月期第2四半期	14.99	—

(注) 平成27年8月1日を効力発生日として、5株を1株とする株式併合を実施いたしました。このため、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	213,738	55,359	25.9	3,589.05
27年3月期	211,840	53,911	25.4	3,496.31

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 55,330百万円 27年3月期 53,896百万円

(注) 平成27年8月1日を効力発生日として、5株を1株とする株式併合を実施いたしました。このため、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	650,000	1.8	4,900	99.1	5,000	102.5	2,600	131.2	168.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	15,860,224株	27年3月期	15,860,224株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	443,720株	27年3月期	444,948株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	15,416,673株	27年3月期2Q	15,416,309株

(注) 平成27年8月1日を効力発生日として、5株を1株とする株式併合を実施いたしました。このため、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数（自己株式を含む）および期末自己株式数ならびに期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、現況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループにおける財政状態および経営成績の分析は、以下のとおりであります。

文中の将来に関する事項については、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策等により企業業績や雇用情勢の改善がみられ、緩やかな回復基調が続きました。一方で、海外では米国の金融政策が正常化の方向に進む中、中国を始めとするアジア新興国等の景気に減速傾向が見られるとともに、ギリシャの財政危機など先行き不透明な状況が続いております。

流通業界におきましては、昨年の消費税引き上げの影響が一巡し、そして全国的に天候に恵まれたことにより、企業業績は回復基調となっております。また、インバウンドの需要増加もあり、景気回復の後押しとなっております。

このような経営環境の中、当社グループは中期経営計画の2年目として、国内および海外において将来に向けた経営基盤の改善および強化を行ってまいりました。

国内事業においては、売上総利益率の改善により収益力の向上を図るとともに、当社グループの販売力、ネットワークを活かしたアドグッドブランドの商品開発を強化し、子会社であるインスタマーケティングとのコラボレーションによる営業・販売促進・店頭管理機能の強化に取り組んでまいりました。

海外事業においては、タイ国内最大規模のサハグループと合弁会社S I A M A R A T A C O . , L T D . を設立し、将来に向けた営業基盤を構築してまいりました。また、ディーエイチシー化粧品をタイ国における総代理店として、タイ国に店舗を展開されている日系企業様だけでなく、現地の大型店に対しても営業提案を行ってまいりました。

生産性の向上では、受託物流センターの生産性の向上を図るとともに、将来の事務センターを一箇所に集約するための業務軽装備化の推進を行ってまいりました。

以上のように収益性向上施策として、売上総利益率の改善、間接部門の集約化や物流費低減などによる経費率の抑制、受託物流事業の収益改善などを推進してまいりました結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は339,795百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は2,665百万円（前年同期比230.1%増）、経常利益は2,721百万円（前年同期比235.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,566百万円（前年同期比577.7%増）となりました。

## カテゴリー別売上実績

当第2四半期連結累計期間におけるカテゴリー別売上実績は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

カテゴリー	主要商品	当第2四半期連結累計期間	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	前年同期比
			%
Health & Beauty	化粧品・装粧品・石鹸・入浴剤・オーラルケア	94,317	106.6
トイレタリー	衣料用洗剤・台所用洗剤・食器用洗剤・住居用洗剤・芳香剤・防虫剤・殺虫剤・乾電池・記録メディア・照明用品・電気応用品・OA用品・文具・食品・カー用品	89,518	102.5
紙製品	家庭紙・紙おむつ・ベビー用品・衛生用品・生理用品	71,479	112.2
家庭用品	台所用雑貨・住居用雑貨・生活用雑貨・レジャー用品・園芸用品	24,014	106.0
ペット用品・その他	ペット用品・その他	60,465	112.3
	合計	339,795	107.5

## 業態別売上実績

当第2四半期連結累計期間における業態別売上実績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

業態	当第2四半期連結累計期間	
	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	前年同期比
		%
ドラッグストア	156,140	107.6
ホームセンター	59,894	105.4
SM	35,354	106.5
GMS	23,259	98.5
CVS	4,534	93.0
その他	60,611	115.6
合計	339,795	107.5

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は213,738百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,898百万円増加となりました。

資産の部では、流動資産は145,876百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,969百万円増加となりました。これは主に現金及び預金が1,369百万円、受取手形及び売掛金が1,872百万円増加し、商品及び製品が1,259百万円減少したことによるものであります。

固定資産は67,862百万円となり、前連結会計年度末と比較して71百万円減少となりました。これは主に投資有価証券が951百万円増加し、建物及び構築物が535百万円、のれんが215百万円、有形固定資産その他に含まれる工具、器具及び備品が387百万円減少したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は123,569百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,155百万円増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が457百万円、賞与引当金が578百万円増加したことによるものであります。

固定負債は34,808百万円となり、前連結会計年度末と比較して705百万円減少となりました。これは主に社債が250百万円、長期借入金が557百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は55,359百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,448百万円増加となり、自己資本比率は25.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年11月5日公表の「平成28年3月期第2四半期(累計)業績予想および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,800	13,196
受取手形及び売掛金	82,649	84,521
商品及び製品	28,072	26,812
繰延税金資産	883	990
その他	20,642	20,518
貸倒引当金	△142	△163
流動資産合計	143,906	145,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,730	22,195
土地	20,540	20,540
その他(純額)	8,625	8,417
有形固定資産合計	51,896	51,153
無形固定資産		
のれん	661	446
その他	3,485	3,498
無形固定資産合計	4,147	3,944
投資その他の資産		
投資有価証券	8,426	9,378
繰延税金資産	308	295
その他	3,654	3,577
貸倒引当金	△500	△486
投資その他の資産合計	11,890	12,764
固定資産合計	67,934	67,862
資産合計	211,840	213,738

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,989	69,446
短期借入金	34,351	34,505
未払法人税等	1,070	1,479
賞与引当金	1,420	1,999
その他	16,583	16,138
流動負債合計	122,414	123,569
固定負債		
社債	3,000	2,750
長期借入金	21,286	20,728
繰延税金負債	648	859
退職給付に係る負債	4,898	4,993
その他	5,680	5,477
固定負債合計	35,514	34,808
負債合計	157,929	158,378
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	23,101	23,101
利益剰余金	23,741	24,526
自己株式	△733	△731
株主資本合計	51,108	51,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,426	3,051
為替換算調整勘定	26	39
退職給付に係る調整累計額	334	343
その他の包括利益累計額合計	2,787	3,435
非支配株主持分	14	29
純資産合計	53,911	55,359
負債純資産合計	211,840	213,738



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	316,092	339,795
売上原価	283,923	304,455
売上総利益	32,168	35,339
販売費及び一般管理費	31,361	32,674
営業利益	807	2,665
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	66	73
業務受託手数料	142	132
その他	283	277
営業外収益合計	496	486
営業外費用		
支払利息	342	292
売上債権売却損	80	83
その他	69	54
営業外費用合計	492	430
経常利益	812	2,721
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	-	15
特別利益合計	0	16
特別損失		
固定資産売却損	114	0
固定資産除却損	3	7
特別損失合計	117	7
税金等調整前四半期純利益	694	2,730
法人税、住民税及び事業税	881	1,323
法人税等調整額	△409	△155
法人税等合計	472	1,168
四半期純利益	222	1,562
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	231	1,566

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	222	1,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	388	624
為替換算調整勘定	△22	12
退職給付に係る調整額	19	9
その他の包括利益合計	385	646
四半期包括利益	607	2,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616	2,213
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	694	2,730
減価償却費	2,042	2,247
のれん償却額	215	215
賞与引当金の増減額(△は減少)	275	578
貸倒引当金の増減額(△は減少)	584	8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	84	109
受取利息及び受取配当金	△70	△76
支払利息	342	292
為替差損益(△は益)	△26	11
固定資産売却損益(△は益)	113	△1
固定資産除却損	3	7
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△15
売上債権の増減額(△は増加)	9,071	△1,872
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,882	1,260
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,153	1,654
その他	2,637	△1,276
小計	16,698	5,872
利息及び配当金の受取額	73	84
利息の支払額	△342	△295
法人税等の支払額	△635	△987
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,793	4,675
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△420	△171
定期預金の払戻による収入	594	289
有形固定資産の取得による支出	△4,333	△645
有形固定資産の売却による収入	94	7
無形固定資産の取得による支出	△565	△664
投資有価証券の取得による支出	△66	△62
投資有価証券の売却による収入	3	26
その他	56	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,638	△1,266
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,840	4,000
長期借入れによる収入	500	3,900
長期借入金の返済による支出	△6,356	△8,303
社債の発行による収入	1,975	-
社債の償還による支出	△250	△250
配当金の支払額	△770	△780
非支配株主からの払込みによる収入	-	18
非支配株主への配当金の支払額	△0	-
その他	△473	△503
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,215	△1,919
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,959	1,479
現金及び現金同等物の期首残高	9,731	11,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,691	12,480

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、日用雑貨・化粧品等の卸売業を主たる事業とする単一セグメントあるため、記載を省略しております。